

南陵高校で環境学習を実施

去る、平成17年6月21日に熊本県立南陵高校で、自然環境をテーマとした環境学習が開催されました。講義室でダム事業における植物の保全対策や、ビオトープづくりについての説明を受けた後、校庭内に設けられたビオトープでその作り方や、自然とのふれあいについて学びました。この学習を通し、環境保全を考える良い機会になったと思います。

学校に出向いての環境学習の様子



南陵高校での説明の様子

よせられた感想

環境学習後に、寄せられた感想文を掲載しています。

環境教育感想文

南稜高校 環境工学科1年

僕は乙益先生の講話を聞いて、乙益先生は「生態系のことをよく考えていらっしやるんだな」と感じました。乙益先生の講話を聞くまでは、生物のことや川辺川ダムのことなど自分には関係のないことだと思っていて、それほど真剣に考えたことはありませんでした。しかし、生態系を考慮したダム作りの話をきいて、大変興味がわいてきました。スライドで見た今まで見たことのない数多くの生物、その生物の成長していく姿などとても勉強になったと思います。フィールドワークでは色々な樹木の説明や、水中に生息する生物などの説明がありました。乙益先生は生物に対しとても愛着を持っていらっしやると思いました。これからは環境を形成していく中で、必要不可欠な存在である生物や、川辺川ダムのことについて、もっと知識を広めていきたいと思います。

南稜高校 環境工学科1年

今回乙益先生の話聞いて、自然環境の大切さについて学びました。スライドを用いた講話や、フィールドワークを通して学んだことは、生物の生息環境を整えて、人間と生物の両者が共生できるような環境を築くことが必要だということです。人間ばかりのことを考えるのではなく、しっかり生物のこと、生態系のこととも考えて行動しなければ、大きな問題が発生します。今、地球上の様々な環境問題は、生態系のことを考えずに巻き起こった問題ばかりです。今回の環境教育に参加して、今まで以上に環境について興味を持つようになりました。とても勉強になりました。

南稜高校 環境工学科1年

今回の環境教育で特に印象に残ったことは、ダムを作るためには、見えないところで、様々な工夫や取り組みが考えられているということです。ダムを作った後の生態系のこともしっかり考えてあるとは知りませんでした。今まで川辺川ダム問題のことをテレビなどで見ても何も感じませんでした。これからはしっかり見ていきたいです。今回の乙益先生の講話は、環境についてより深く考える機会になったと思います。環境に対し強く関心を持たれる時代だからこそ、これからの社会には乙益先生のような人の存在が必要だと思います。私も、将来は乙益先生のように、何らかの形で環境に関わって行く人になりたいです。